

# 十勝の星 円熟の夏へ

陸上女子短距離の福島千里(27)＝北海道ハイテクAC・帯南商高出身。マウンテンバイクの山本幸平(30)＝TREK FACTORY。国際自然環境アウトドア専門学校、帯農高出身は共に幕別町出身。アジア王者など共通点が多い。加えて、今年のリオデジャネイロが3度目の五輪出場となる可能性が高いことも一致している。心技とも円熟の季節を迎えた両者が、これまでの経験を武器に盛夏のブラジルへ挑む。

## リオ五輪出場濃厚の2選手

### 結果を形に

日本人女子として56年ぶりに100メートル(2008年北京)出場を果たしたのは20歳のとき。日本記録を大幅に更新してロンドン五輪に臨んだのは24歳だった。いずれも実力を出し切れず歯がゆさは残ったが「経験は無駄じゃない」。

順当に出場が決まれば、28歳で迎える今年のリオデジャネイロ五輪。「一日一日を丁寧に過ごし、良かったと思える走りをしてほしい」と笑顔の裏に闘志を秘める。

不本意な結果に終わったロンドン五輪後は「リオに向けてどう過ごしていいかわからない」と悩み続けた。そんな中「記録が伸びなくても支えてくれる人たちがいた。そんな人たちのために頑張ろうと思った」と気持ちを奮い立たせた。

好記録を連発した昨シーズン。昨年8月の世界選手権北京(では100メートル11秒23と自身の日本記録にあと0秒02まで迫り、2大会ぶりに連決勝に進出した。決勝進出は逃したが、日本記録を樹立した2010年当時の自分を上回る手応えはある。ヒールが20歳代後半ともい

### 経験踏まえ「ベストの上を」

われる短距離選手だが、指導する中村宏之監督は「福島は進化している。筋トレもこなし、地面を蹴るために必要な跳躍力も付いている。レベルは上がっている」と評価は揺るぎない。今季は昨年同様海外を転戦し、8月の大舞台へヒールを持っていく考えだという。「訳も分からずに出場した北京。悩んだロンドン。でもリオでは霧は晴れているだろう」と中村監督。3度目の五輪が集大成の場となりそうだ。

「自己ベストより、もうちょっと上を目指さない。リオ五輪は結果を形にして、お世話になった人々への恩返しにしたい」と悲願ともいえる五輪での100メートル予選突破が達成できれば、日本女子短距離界としては84年ぶりという新たな扉が開かれる。

ふくしま・ちちく 1988年6月27日幕別町生まれ。帯南商高出身。帯南商高出身。北海道ハイテクノロジー専門学校に進み、現在は同校職員。100メートル(11秒21)、200メートル(29秒89)日本記録保持者。北京(100メートル、100メートル、200メートル、400メートル)の五輪日本代表。いずれも女子選で敗退している。150センチ、52

## 陸上競技女子短距離

# 福島 千里(27)＝道ハイテクAC

## マウンテンバイク

# 山本 幸平(30)＝TREK FACTORY

## 入賞狙える

昨年は7月の日本選手権で2年ぶり7度目の優勝、アジア選手権(8月)で7連覇と変わらぬ強さを誇ったが、9月の世界選手権で45位と後塵(こうじん)を拝した。「劣っている部分を感じ、もっと自分を高めていく必要があった」。その後フランス人コーチとの契約を解消。五輪シーズン前に「自分の感覚を信じよう」と思った」と練習内容を見直した。

本来はタイヤで自転車に乗り込む昨年11月から今年1月上旬の時期に長野県松本市へ。自ら考えたトレーニングで汗を流す。地元シクロクロス大会に出場し、スピード強化と心肺機能向上を図ったほか、自転車以外のトレーニングも積極的に導入。週2回ジムに通い、加圧やサスペンションバンドによるトレーニングを取り入れ、体幹を鍛えている。「練習メニューはスムーズにやれている。手応えもあつて楽しい」と充実感をにじませる。

### 日本で特訓「イメージできた」

昨年10月にリオで行われたテスト大会では11位。本番と同じコースで「岩場や長い上り坂などがあり、テクニクとパワーの両方がバランス良く必要。好きなコースで良いイメージで本番に臨める」と好印象を抱く。

「今季のW杯や世界選手権は1桁順位に入ることが目標。そういう走りできれば、リオ五輪では8位入賞を狙える」と力を込める。五輪の競技日8月21日は31歳の誕生日の翌日となる。「五輪は2度経験しているので、気持ちのつくり方は分かっている。誕生日を自ら祝いたい」と前向きなイメージを持っている。

昨年8月には、故郷の幕別町に監修したコースが完成した。MTB普及への思いも強い。「ラグビー日本代表のように、選手の活躍は競技への注目度アップにつながる。僕が五輪で上位に入って、少しでもMTBの魅力を知ってもらえればうれしい」と願っている。

やまもと・こうへい 1985年8月20日、幕別町出身。札幌内北小、札幌東中、帯農高、国際自然環境アウトドア専門学校出身。TREK FACTORY所属。北京五輪は46位、ロンドン五輪は27位。180センチ、68



恵庭市の練習拠点で取材に応じる福島千里。リオ五輪への強い意欲を笑顔の内に秘める(金野和彦撮影)



リオ五輪での入賞を目指し、練習や大会参加で順調にトレーニングを重ねてきた山本幸平 (athletebank提供)